

II 課題と背景

本市では、子育て世代にとってより魅力的な環境の実現に向けた施策を推進しています。そのため、本市の幼保施設が抱える喫緊の課題（市立幼稚園の過小規模化、保育所の待機児童の増加、施設の老朽化）の解消に向け、抜本的に幼保施設の在り方を見直し、限られた財源や人材をより効果的・効率的に投入する必要があります。

この取組の中核となるのが、幼保施設の再編による一体化です。

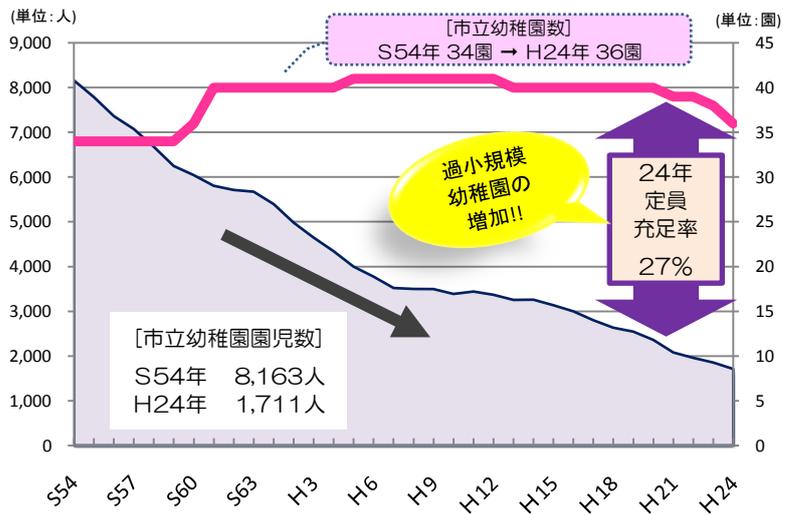


(1) 本市の幼保施設が抱える喫緊の課題

① 市立幼稚園の過小規模化

少子化の進行や市民ニーズの多様化の影響を受け、市立幼稚園の定員充足率は、約27%となっています。これにより、1園あたりの園児総数が30人に満たない過小規模の市立幼稚園が増加しており、集団生活を通して活動できる子どもの規模を確保することが課題となっています。（【資料D】参照）

【資料D】市立幼稚園の園児数と園数推移（各年度5月現在）



② 保育所待機児童の増加

就労形態の多様化などの影響から、保育ニーズは増加しつづけており、これに伴う、保育所待機児童の増加は全国的な課題となっている中、本市も同様の状況にあります。（【資料E】参照）

近年、民間保育所の新設・増改築がなされましたが大幅な待機児童の解消には至っていません。

【平成24年5月現在】

区分	施設数	定員	在園児	充足率
市立幼稚園	36園	6,300人	1,711人	27%
国・私立幼稚園	17園	3,107人	2,335人	75%

※市立幼稚園の定員は、各幼稚園の保育室数から算出した受け入れ可能園児数
市立幼稚園の充足率は、受け入れ可能園児数に対する在園児数の割合

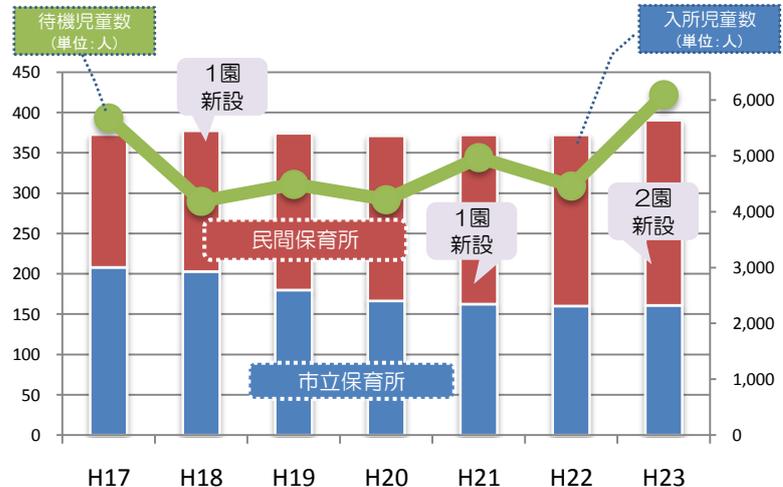
③ 市立幼保施設の老朽化

市のまちづくりは、高度経済成長期から長い間、人口の増加や都市化の進展を見込んだ都市基盤や公共施設の整備を進めていくことで、道路や橋、上下水道、学校等教育施設などの充実を図ってきました。

これらの多くは、老朽化が進んでおり、このままでは、幼保施設についても5年後には、築30年以上の施設が全体の70%以上になります。

今後の維持補修や更新費用などの必要性について、災害時の対策も踏まえ、もう一度見直しを図る必要があります。（6頁【資料G】参照）

【資料E】保育所の園児数と待機児童数の推移（各年度3月現在）



【平成24年3月現在】

区分	施設数	定員	在園児	充足率	待機児童
市立保育所	18園	2,780人	2,321人	83%	126人
民間保育所	24園	3,047人	3,318人	109%	296人

※待機児童数は、厚生労働省報告数に加え、第一希望のみの児童も含む数

(2) 幼保再編の背景

① 少子化の進行

【資料F】に示すように、今後さらに少子化は進行し、平成31年には7年と比較して、約3割就学前児童数が減少することが見込まれています。

② 教育・保育ニーズの多様化

核家族化【資料F】や共働き世代の増加、ライフスタイルの多様化に伴い、一時預かりの実施等の教育・保育へのニーズも多様化しています。

③ 縦割り行政の弊害

幼保施設の包括的な再編の検討が以前から必要であったにもかかわらず、施設所管課ごとに認識の温度差があり、抜本的な対策を講じることができていません。

④ 行政主導の施設整備

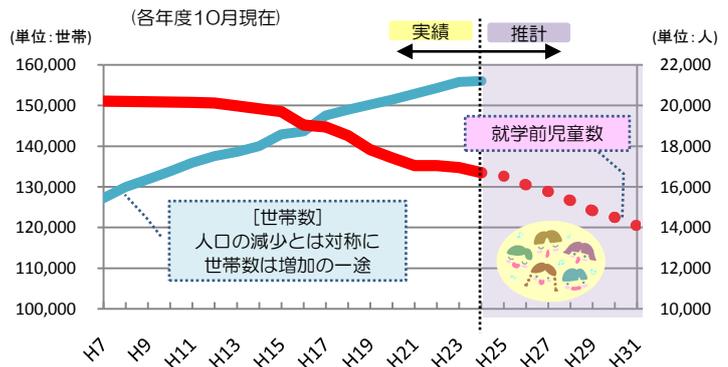
【資料H】に示すように、これまで行政主導で幼保施設の整備を進め、運営を実施してきました。なお、これからは民間とのより協調・連携した施設運営が必要となります。

⑤ 運営体制の人的限界

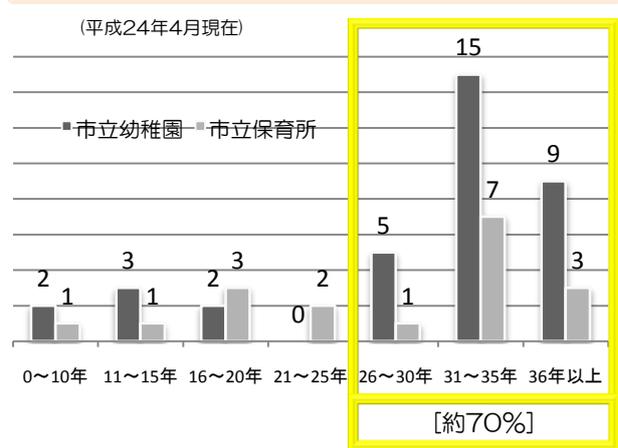
幼稚園教諭及び保育士の非正規化が全国的な問題となっており、本市においても他市に比較して多くある市立幼保施設を維持運営しながら、多様化する市民ニーズに対応していくには、非正規職員に頼らざるを得ない状況です。

市全体の方針として、職員数の削減を図る中、市立幼稚園及び保育所でも現状の施設運営管理方法に対し、民間活用を含めた抜本的な改善を進める必要があります。

【資料F】 奈良市の就学前児童(0歳から5歳まで)人口推移



【資料G】 市立幼稚園・保育所の建設経過年数



本市の現状イメージ

現場の声

教材費が足りない...
人手が足りない...
雨漏りするんだけど...
園児が数人しかいない...

課題山積

【資料H】 平成24年度現在市内幼保施設

- ◇ 幼稚園 53園 (うち、市立36園)
- ◇ 保育所 42園 (うち、市立18園)
- ◇ 認定こども園 3園 (市立3園)

現状の施設運営で手一杯...

地域・保護者の声

3歳児保育してほしい
子育てが不安
相談したいけど...
保育所に入れない
延長保育してほしい
預かり保育してほしい

ニーズの多様化

再編

